



一般質問



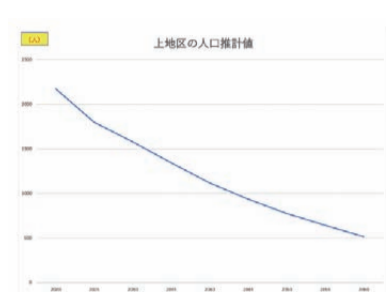
創和会 福森 真司

財源確保に向けた 本市資源の有効活用を



一般質問は、12月7日、8日、9日の3日間行われ、17人の議員が登壇しました。一般質問は、2面から4面に掲載しています。(質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載) 尚、各議員の記事にあるQRコードを読み込むと、一般質問の動画を視聴できます。(通信費は利用者の負担となります。)

一 安全でおいしい水道水の供給について
問 法定耐用年数である40年を超えて水道管が更新時期を迎える中、安定した水道水を供給するための取り組みはどのようなものか。
答 漏水の早期発見、水管橋・空気弁などの施設の定期点検により管路機能の維持に努め、予防保全型の管理の強化に取り組んでいる。
要望 市民の日常生活、地域産業振興に欠かすことのできないライフラインである水道施設の適切な維持管理は大変重要である。市民共有の財産である豊富な地下水と優れた先人が築いた歴史ある水道を誇りとし、適切な負担のもと、水道施設が適正に維持管理され、秦野名水を主要な水源とした水道水が安全・安心に提供されるよう今後も努めてほしい。



秦野市人口ビジョンにおける上地区の将来推計

二 低未利用地の有効活用について
問 歳入確保につながる未利用地の有効活用はどのようか。
答 積極的な歳入確保へ向けて売却や貸し付けを進めるとともに、秦野名水などの観光資源や特産品を活用し土地の持つ魅力を認識しながら有効性や可能性を検討する。



無所属 伊藤 大輔

「親の経済力」ではなく「子どもの個性」によって選べるもう一つの公教育を作る



一 教育について
問 令和元年9月定例会で上小学校への※イエナプラン教育の導入についての話をした。イエナプランの理念には賛同してもらえたか。
答 賛同している。2年8月に教育長が長野県佐久穂町にある先進校の私立大日向小学校を視察した。
無所属の会 古木 勝久
問 イエナプラン教育を推すのは、文部科学省から既に※一条校として認められた実績があり、3年4月には公立小学校で初となるイエナプラン教育校として広島県福山市立常石とともに学園が開校した。検討の状況はどのようなか。
答 一つの学校を特化させるのではなく、市内の小・中学校22校が、それぞれの強みを生かした魅力ある学校づくりの構築を図っているところである。
問 上小学校に小規模特認校制度を導入した理由は何か。
答 特色を生かす教育活動を通じて地域の活性化を図るためである。
意見 イエナプラン教育の導入を上小学校へ提案する理由は二つある。一つは特色を「もつと」生かすこと。「22色の色を持たせる」



秦野名水を活用した「おいしい秦野の水」

公明党 山下 博己
高齢者が安心して暮らせる交通の足の確保を
問 地域公共交通の拡充について、高齢者の進行で、公共交通不便地域の高齢者の移動手段の確保が課題となっている。今後、公共交通のニーズ調査を実施し、福祉部局を交えて地域公共交通計画の策定を進めるべきか。
答 今後、地域公共交通のニーズ調査を実施し、地域の実情や市民



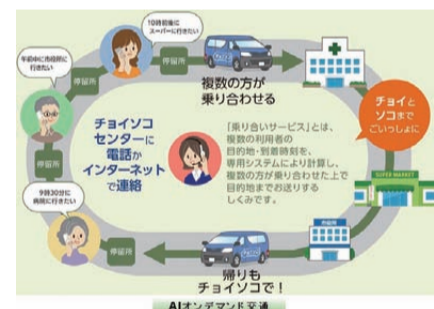
無所属の会 古木 勝久

保育の質のガイドラインを策定し 子育て支援のレベルアップを



一 子ども・子育て支援策について
問 保育の質のガイドラインでは、子どもの権利や保育士の確保、保育環境、保育内容など、詳細な評価基準を設けて、総合的な審査をしている自治体がある。このような取り組みをどうするか。
答 乳幼児教育保育支援センターの機能を使って、保育の質のガイドラインの必要性や在り方について引き続き検討していきたい。
意見 70年前の国基準の保育に固執するのではなく、他の自治体が行っている成果を上げたのかを分析し、本市の保育行政を見直し、独自の保育の質を確保するべきだと考える。
二 市税等の滞納処分について
問 滞納者の差押え件数を年間目標にして、その件数を職場内で競い合っているようだが、競い合う目標が違ってしまうか。
答 想定される年間の処理件数から職員の経験年数に応じて配分しているもので、競い合うためのものではない。
問 その結果は、職員の人事評価や給与などの査定に影響を及ぼすものなのか。
答 数値目標は年間の処理目安に過ぎない。
問 目標設定は相手に寄り添う相談件数や徴収率にして、差押え件数を目標にすることは、即刻、止めるべきと考えるが実施できるか。
答 そのように考えていく。

需要、観光需要などに即した持続可能な公共交通ネットワークの確保に向け計画の策定を進める。
問 AIを活用したオンデマンド交通を導入し交通網の拡充に効果を生んだ事例を参考に、事業者との協議を進めてはどうか。
答 AIの活用で効果が期待できる部分もある。先進事例を注視しながら、本市に合った持続可能な地域公共交通の在り方を検討する。
二 食品ロス削減の取組について
問 まだ食べられる食品が大量に廃棄されている問題に対し、食品ロスの削減は重要である。削減に向けた課題と取り組みはどうか。
答 市民、事業者、行政が一体となって取り組むべき課題であり、



AIオンデマンド交通の導入を(チョイソコとよあけ(愛知県豊明市)HPより)

議長公務(12月~2月)

議長の主な公務についてお知らせします。より詳細な公務日程については、市議会ホームページでも公開しています。

小菅 基司 議長

- 12月 19日(月) 令和4年度秦野市自治会連合会忘年会 28日(水) 令和4年消防団歳末火災特別警戒激励式
- 1月 5日(木) 令和5年秦野市新年賀詞交歓会 9日(月) 令和5年秦野市はたちのつどい 10日(火) 秦野商工会議所令和5年新年賀詞交歓会 14日(土) 令和5年秦野市消防出初式 17日(火) 2023年度公益社団法人秦野青年会議所新年賀詞交歓会(副議長代理出席) 21日(土) 令和4年度秦野市教育功労者等表彰式 26日(木) 令和4年度はだのっ子アワード表彰式 関東市議会議長会 第2回支部長会議
- 2月 1日(水) 全国高速自動車道市議会協議会第49回定期総会 5日(日) ふるさとお国じまん第13回秦野市県人会フェア



誰一人取り残さない子育て支援を

三 コロナ禍での不登校について
問 長引くコロナ禍により不登校の児童・生徒の数が増加傾向にある中、オンライン学習の推進が全ての子どもたちの学びや育ちに有効と考えるが、ICTを活用した学習支援の状況はどうか。
答 タブレット端末での授業の共有や教員とのコミュニケーションが図れるほか、令和4年6月から不登校などの児童・生徒を対象にオンライン学習教材を活用した本市独自の学習支援を開始した。

創和会 諸星 光
安心・安全で豊かな地域社会の形成に向けて
一 県道708号の渋滞解消に向けたアクセス道路の整備について
問 篠窪バイパスの開通に伴う交通量の増加を受け、県道708号の秦野区間や、周辺の生活道路における安全対策はどのようなか。
答 県との連携で安全対策を検討し、啓発看板やグリーンベルトの設置などに順次取り組んでいる。
要望 今後も広域的な視点で道路網や土地利用を検討してほしい。
二 農畜産物の国産国産の推進について
問 地産地消、さらに国産国産に向けて、農業者の所得向上などに繋がる農家レストランが有効と考えるが、これまでの認定状況と



第1号として認定された「農家レストラン秦野どぶろく家」

用語解説 ※イエナプラン教育…ドイツで始まりオランダで広がった、一人一人を尊重しながら自律と共生を学ぶオープンモデルの教育のこと。 ※一条校…幼稚園や小学校など学校教育法第1条に定められた教育施設の種類やその教育施設の通称のこと。